

平成 25 年 2 月

梅一輪ほどの寒さとは言はず  
じつとしてゐるも大切 滝凍る  
うすらひの極薄ものが高級品  
食道を胃の腑へ向かふ春の水  
余寒にはあらず本番の寒さなり  
結末の報告あらず猫の恋  
義理チョコに本気 滲ませバレンタインデー  
供養せむ針 供養後の蒟蒻も  
初恋は薄氷のごと卒業す  
津の脇の社の椿祭かな